

県政トピックス

桂由美さんと懇談 「福井県を日本のブライダルのお手本に」



世界的なブライダルファッションデザイナーの桂由美さんが、1月13日に杉本知事と懇談し、結婚応援に関する取り組みについて意見交換しました。桂さんは「結婚の重要性を県民に発信してほしい」と要望。杉本知事は「みなさんの結婚を応援して幸せな家庭を増やしていきたい。ユミカツラミュージアムワカサも地元と協力しながら盛り上げていく」と話しました。

岸田首相 福井県を訪問 子育て中の親たちと意見交換



少子化対策の具体化に向け、2月4日、岸田文雄首相は坂井市の県児童科学館を訪れ、県内の子育て中の親たちと意見交換しました。岸田首相は「福井県は日本一幸福な子育て県として全員参加の子育て支援に取り組んでいる。これから目指すべき一つのモデルケースでもあった」と述べました。

また、岸田首相は永平寺町を視察し、自動運転車に試乗しました。

木材産業インターンシップ 県内で初開催



近年、外国産木材の価格高騰を背景に、県産材の需要が高まっています。県では、木材産業への若い人材を確保するため、昨年12月21～23日にインターンシップを初めて開催。敦賀工業高等学校の生徒3名が県内の製材所で製材作業を体験しました。今後も学生などを対象にインターンシップを随時受け付け、木材産業への人材確保と県産材の利用拡大を進めていきます。



先輩社会人から話を聞こう 「縁job2022スペシャル」を開催



学生と県内企業の先輩社会人が自由に交流するイベント「縁job(ジョブ)」。意見交換やグループワークを通して、県内企業の魅力や就活に役立つ情報を知ることができます。

昨年12月26日に開催した交流会では、企業70社、学生70名が参加。学生からは「社会人や内定者の方と話ができるまたとない機会。いろいろなアドバイスをもらって参考になった」などの声が聞かれました。